

東京音楽大学附属民族音楽研究所主催

民族音楽等 社会人 特別講座

LESSON & LECTURE

実技と講義で学ぶ社会人のための音楽講座

東京音楽大学附属民族音楽研究所 主催 民族音楽等社会人特別講座 令和8年度 受講生募集のお知らせ

- 邦楽器** 箏 尺八 琵琶
- 古楽器** リュート パロックギター ビウエラ リコーダー フラウト・トラヴェルソ チェンバロ
- 民族楽器** トンコリ シタール 馬頭琴 コムズ 月琴・明清楽楽器 二胡(高胡・中胡) 龍笛
パンフルート ガムラン 各種民族太鼓 口琴 のどうた 親指ピアノ
- 民族舞踊** ジャワ舞踊

本講座は、楽器演奏のエキスパートによる**個人レッスン**と、多様な講師陣による**共通レクチャー**で構成する、社会人対象の音楽講座です。
演奏を習得する「習う」と知識を深める「学ぶ」により、様々な音楽の**総合的な学び**を提供します。
本講座では、世界の音楽の中から日本やアジア、欧州の古い時代の音楽が学べます。

	募集人数	履修期間	共通レクチャー	個人レッスン ^{※1}	受講料 ^{税込}
教養コース	15名	1年間	80分×20回	40分×25回	¥307,000
研究コース	15名	1年間	80分×20回	40分×25回	¥307,000
実技専修コース ^{※2}	15名	1年間	—	40分×25回	¥220,000

※1 担当教員と個別に相談の上、詳細を決定します ※2 本講座の「教養コース」または「研究コース」を2年以上受講した者で、レッスンのみを希望する者を対象とする。

受講者は、該当コースの受講を完了した際に、修了試験を受ける事が出来ます。

演奏が一定の水準に達した受講者には、修了証を発行します。

尚、修了試験 兼 発表会の出演料として10,000円がかかります。

申し込み日程 / 教養コース・研究コース

第1回募集

申込期間：2026年1月19日(月)～2月14日(土)
面接日：2026年3月2日(月) 19:00

第2回募集

申込期間：2026年2月16日(月)～3月21日(土)
面接日：2026年4月6日(月) 19:00

お問合せ・お申し込み

東京音楽大学附属民族音楽研究所
〒171-8540 東京都豊島区南池袋3-4-5 池袋キャンパスA館地下1階
地下鉄副都心線：雑司が谷駅1番出口より徒歩5分
JR山手線：池袋東口より徒歩15分

TEL：03-3982-2136
HP：<https://tcm-minken.jp/>



※一部の楽器は、アンサンブル講座・演奏講座で短期で学ぶこともできます。詳細はHPをご覧ください。

邦楽

日本の伝統楽器の世界を新たな視点から再発見

箏



滝田 美智子
東京音楽大学特任教授



古典曲、古典合奏を中心に、邦楽特有の＜間、ノリ、ユルミ＞を習得します。同時に＜音＞の響きを意識し、余韻を重ねていくことにより、自分の音で音楽を表現できるようになります。邦楽にとどまらず、洋楽にも視野を広め、邦楽との共通点、相違点を実感することも大切なことです。様々な音楽に触れながら箏を学びましょう。



内藤 久子
東京音楽大学特任教授



流派の違いに捕らわれず、受講者の希望も取り入れ、新しいチャレンジを含めた幅広い作品の個人レッスンです。またグローバルな視野で箏を奏でることで「日本の音・精神」を探り、「日本の音」を考える機会にしたいと考えています。

尺八

教養コース
尺八の鳴らし方や指遣いなど基礎から始まり、初歩的な曲を通して吹くことを目標とします。



田辺 恵山
東京音楽大学講師



研究コース
都山流尺八曲/古典曲/現代曲などレベルに合った尺八曲を学びます。曲を通して奏法や呼吸法などのテクニックより深めていきましょう。



琵琶

祇園精舎の鐘の声...で知られる平家物語。その激しい源平合戦の様を表現する「崩れ」の奏法、ものの哀れや武門の悲劇を歌った「和歌」等を通じて、特徴のある琵琶の奏法を学び、歴史的ドラマを描く弾き語りの世界を体感してみませんか？薩摩琵琶五絃五柱鶴田流琵琶を学習します。

首藤 久美子
東京音楽大学講師



古楽器

ルネサンス・バロック楽器で優雅な音の世界を満喫

リュート・ビウエラ バロックギター



本講座ではルネサンス・リュート、バロック・リュートなど、リュート属全般（※）の基礎的な奏法が学べます。楽器の構造やメンテナンスについても理解して、各楽器の演奏法だけでなく、各時代特有の装飾法、数字付き低音の読み方など奏法の変遷も習得します。さらに、希望者は他の楽器とのアンサンブルや歌の伴奏も学べます。リュート音楽の歴史的背景を学び、ヨーロッパ各国の楽曲や文献について図書館所蔵資料に基づいて研究するなど、基礎的知識を踏まえてリュート音楽を理解し演奏していきましょう。

※ ルネサンス/バロック・リュート各種、ビウエラ、ルネサンス/バロック・ギター



坂崎 則子
東京音楽大学客員教授



水戸 茂雄
東京音楽大学講師



リコーダー フラウト・トラヴェルソ



リコーダー
16-18世紀には、その独特の音色、旋律美の確立した独奏管楽器として、大変もてはやされました。当時の音楽様式を軸に、技術的な体系にもアプローチし、独奏ソナタのみならずカンタータや同族のコンソート、また現代の曲に至るまで、様々なシーンに対応出来るリコーダーの奥深い魅力を学習します。

フラウト・トラヴェルソ
リコーダー同様バロック期に大活躍した、フルートの前身である1キーの横笛の楽器です。現代フルートから遡った音楽学的なアプローチの資料としても興味深く、当時の音楽で求められていた横笛の美意識を探求します。

器楽アンサンブル
ルネサンス・バロック時代に特化して、様式と楽器的アプローチに基づき通奏低音による小アンサンブル、リコーダーコンソート、管楽器+声楽のコンソート等を学びます。



吉澤 徹
東京音楽大学講師



チェンバロ

チェンバロは、バロック音楽になくてはならぬ楽器でした。特に通奏低音を受け持つとき、陰の主役というべき役割を担っていました。この楽器を弾くには、指の繊細な動きを必要としますが、そこから生まれる世界は思いのほか大きいものです。チェンバロの魅力と一緒に探求してみませんか。初心者の方はこちらでご相談下さい。



坂 由理
社会人特別講座講師



民族

楽器



トンコリ

樺太アイヌの伝統楽器トンコリ（5弦の竖琴）の演奏法を学びます。アイヌの音楽の中心は歌ですが、アイヌの歌も楽器演奏も、私たちが日常で知る音楽とは感覚的に異なる要素が多数あります。トンコリのほか様々な楽器や歌など、受講生の皆さんのその時々に関心に添いながら、アイヌ音楽を形作る人間本来の感性といったものに触れ、音楽のおもしろさを再確認したいと考えています。



千葉 伸彦
東京音楽大学講師



シタール

教養コース

調弦や右手の基本で始まり、初歩的な曲が弾けるようになります。

研究コース

レベルに合った即興的演奏が学べます。インド音楽の神髄を味わいながら、インドらしい音楽表現を楽しみましょう。



小日向 英俊
東京音楽大学客員教授



コムズ

キルギス共和国の伝統楽器コムズは、あんずの木をくり貫いて作った三弦楽器で、船を漕ぐオールに似た形をしています。まるで小さな鳥が飛びまわるような、かわいらしい右手の動きに特徴があります。本講座では、基本的な演奏を身につけられます。上級者になれば、この楽器を自由に操り、アクロバットの演奏ができます。



ウメトバエワ・カリマン
東京音楽大学講師



馬頭琴

民話「スーホの白い馬」を通じて日本人にも有名なモンゴル伝統楽器の演奏を基礎から丁寧に学び、モンゴル文化に触れます。馬頭琴独特の演奏法を身につけながら、実力に応じた楽曲が演奏できるようになります。



美炎
社会人特別講座講師



口琴&のどた &親指ピアノ

アジア・ヨーロッパ・太平洋地域各地の口琴音楽や、アジア中央部などの喉歌（倍音唱法）を学べます。倍音をうまく活用する様々な現象や楽器に触れることで、まったく新しい音楽の世界が広がります。アフリカの親指ピアノ作りにも挑戦。詳細をご相談ください。



直川 礼緒
社会人特別講座講師



龍笛

雅楽は、奈良平安時代またはそれ以前から演奏されてきた様々な音楽を総称したものです。日本においては仏教の声明（しょうみょう）に比肩する長い歴史があります。その音楽内容はアジアに広く淵源があり、インド、西域、中国、朝鮮、日本等の各地域の音楽を凝縮して現代に伝えています。龍笛は、雅楽伝承の基礎をなす三種の管楽器の一つです。本講座では楽器の旋律を唱える唱歌（しょうが）を覚えながら龍笛の奏法を習うことを中心とし、それに付随して歌物（うたもの）も修得します。受講生は初学者用の樹脂製龍笛と中小曲龍笛譜を基本的に用います。講師は、雅楽の歴史や理論、時事ニュース、演奏会・展覧会情報、参考書等を紹介したり、雅楽について調べたり鑑賞したりするための手引もいたします。



鳥谷部 輝彦
社会人特別講座講師



様々な民族の伝統楽器の世界は発見がいっぱい



パンフルート

パンフルートは世界最古の管楽器と言われ、歴史は古代ギリシャに遡る。ギリシャ神話に登場する牧神パンが吹いていた楽器とされている。ルーマニアでは民族楽器として大切に演奏されてきた。素朴で美しいパンフルートの音色を奏でてみませんか。本講座では、パンフルートの基礎的な奏法を身につけ、『ルーマニア民謡』の演奏を目指します。詳細をご相談ください。



咲久 徠史子
社会人特別講座講師



月琴・明清楽楽器

17世紀から18世紀に長崎へ伝えられ、日本でも人気を得た明楽と清楽の代表的な楽器、月琴を学びます。月琴奏法を基本に、多々ある明清楽楽器を演奏できるように、講座を進めていきます。講座では、幕末・明治時代に日本で製作したもの、またはこれらを復元したものを使用します。月琴を弾きながら演奏する唄も習えます。中国にルーツを持ち、日本でも一定の人気があった音楽について、実践しながら学びましょう。



稲見 恵七
社会人特別講座講師



各種民族太鼓

立つ座るなど日常生活の所作から生きることに総てに、人それぞれが持つリズム感が溢れています。その基本動作が作り出すリズム感に気付き、解放された響きとは、リズムの本質とは何かを様々な民族打楽器を通して学び、更には前向きな発想、生命力の根源にまで迫っていきます。



有賀 誠門
社会人特別講座講師



二胡（高胡・中胡）

日本でも人気の中国伝統楽器、二胡の基本的なテクニックと、代表曲が習得できます。教養コースでは基本から始めて、この楽器の特徴的な演奏法まで学べます。研究コースでは少し難しい曲を選択して、地域による演奏方法の違いなども学べます。曲例を通して、総合的な演奏技術と音楽表現法を習得できます。



劉 継紅
東京音楽大学特任教授



ガムラン

ジャワ島のガムラン音楽が体系的に学べます。レッスンでは習得の難しい楽器・パートも個人レッスンで練習でき、個々のニーズに合った指導が受けられます。他分野とのコラボレーション、社会との接点など、より多角的な視点でガムランの可能性に触れられます。



岸 美咲
東京音楽大学講師



ジャワ舞踊

ジャワ島の伝統舞踊における女性舞踊を中心としながら、優型の男性舞踊も学べます。ゆったりとした下に向かう動きが中心となる舞踊の練習を通して、ガムラン音楽の「拍」と舞踊の深い関わりを学び、生のガムラン演奏といっしょに群舞の楽しみが体験できます。



針生 すぐり
東京音楽大学講師



講座概要

邦楽、古楽及び民族楽器（以下「民族楽器等」という）を習得しようとする社会人が、個人レッスン（含むアンサンブル）でそれぞれの実技を学ぶとともに、共通講義で世界音楽の理論と実践を幅広く学んでいく。

なお、本講座の「教養コース」または「研究コース」を2年以上受講した者は、「実技専修コース」を選択することができ、個人レッスン（含むアンサンブル）でそれぞれの実技を深めていく。

1. コース

本講座は、以下の三つのコースに分かれている。

- 1) **教養コース**：原則としてレッスンを受ける楽器の初心者を対象とする。
- 2) **研究コース**：原則としてレッスンを受ける楽器の経験があり、自らの演奏技術をより高めたい者を対象とする。
- 3) **実技専修コース**：本講座の「教養コース」または「研究コース」を2年以上受講した者で、レッスンのみを希望する者を対象とする。

2. 募集人数

各コース15名程度

3. 受講期間

1年間

4. 開講時間

1) 教養コース	個人レッスン：年間25回、1回40分、担当教員と個別に相談の上詳細を決定する。
2) 研究コース	講義：年間20回、1回80分。金曜日18:30～19:50
3) 実技専修コース	個人レッスン：年間25回、1回40分

5. 受講について

受講者は、当該コースのレッスンと講義受講を完了した際に、修了発表会において演奏認定試験を受けることができる。演奏認定試験および講義において課せられるレポートが、当講座で定める水準に達した者に、修了証を発行する。

6. 申込資格

18歳以上の社会人の方

7. 申込手続き

- | | | |
|---|---|-------------------|
| 1) 教養コース | 2) 研究コース | 3) 実技専修コース |
| ① 受講希望者は申し込み書類を民族音楽研究所まで請求すること。 | ① 受講希望者は申し込み書類を民族音楽研究所まで請求すること。 | ① 入学願書のみ提出する |
| ② 受講希望者は下記の書類を一括して郵送すること。 | ② 受講希望者は下記の書類を一括して郵送すること。 | |
| ③ 申込書提出後、本学より送付される振込用紙で審査料10,000円を納入すること。 | ③ 申込書提出後、本学より送付される振込用紙で審査料10,000円を納入すること。 | |
| ④ 審査料の振込が確認され次第、面接票・面接日時を記した文章を郵送する。 | ④ 審査料の振込が確認され次第、面接票・面接日時を記した文章を郵送する。 | |

必須書類など	記入要領など
面接票	所定用紙に記入する。写真貼付。
入学願書	所定用紙に記入する。氏名は戸籍と同一のこと。写真貼付。
履歴書	所定用紙に記入する。音楽修学歴は高等学校以降、師事した教師名、及び指導を受けた楽器名を記入する。



入学願書・継続申込書のダウンロードはこちら

注意事項 ・いったん提出した書類、審査料は理由の如何にかかわらず返還しない。
 ・身体に障がいがあり、面接上特別な措置が必要な場合は申込時に附属民族音楽研究所に申し出ること。
 ※申込書等に記載された個人情報、本講座に関する業務以外には使用しない。

8. 申込期間

第1次募集：2026年1月19日（月）～2月14日（土）
 第2次募集：2026年2月16日（月）～3月21日（土） ※締切日消印有効

9. 申込先

東京音楽大学附属民族音楽研究所
 〒171-8540 東京都豊島区南池袋3-4-5 池袋キャンパスA館地下1階 **Tel. 03-3982-2136**

10. 面接について

教養コース：面接 志望理由等
 実技 任意の楽器、または歌唱による自由曲1曲を演奏、受講希望楽器以外の楽器でもよい。
 なお面接演奏では楽器は貸与しない。

研究コース：面接 志望理由等
 実技 受講希望楽器による自由曲1曲を演奏。なお面接演奏では楽器は貸与しない。

11. 面接日時

第1次募集：2026年3月2日(月) 19:00 ※詳細（集合時間、集合場所等）は後日連絡する。
 第2次募集：2026年4月6日(月) 19:00 ※面接票は面接時に必ず持参すること。

12. 受講の可否

面接当日に受講の可否を発表します。その際、手続に必要な書類を配布します。

13. 受講料

受講決定後、本学より指定された振込方法にて振込期間内に納入すること。
 （振込方法は後日連絡する）
 ※納入した受講料は理由の如何にかかわらず返還しない。

コース	受講料(税込)
教養コース	307,000円
研究コース	307,000円
実技専修コース	220,000円
修了演奏会費	10,000円

14. 手続き書類

受講決定日に以下の手続き書類を配布するので手続き期間内に民族音楽研究所宛に返送すること

1. **誓約書 1通**（本学指定用紙）
2. **氏名・現住所を確認できる書面**（運転免許証・健康保険証などのコピー）1通

※学生旅客運賃（学割）は適用されない。
 ※個人レッスンの日程は、担当教員と個別に相談の上決定する。
 ※開講日・講義日程は後日配布する。

15. 講座担当教員

民族楽器	月琴・明清楽楽器	稲見 恵七	邦楽器	箏	滝田 美智子、内藤 久子
	トンコリ	千葉 伸彦		琵琶	首藤 久美子
	二胡（高胡・中胡）	劉 継紅		尺八	田辺 恵山
	馬頭琴	美炎	古楽器	リコーダー フラウト・トラヴェルソ	吉澤 徹
	コムズ	ウメトバエワ・カリマン		チェンバロ	坂 由理
	シタール	小日向 英俊		リュート「ルネサンス、バロック」	坂崎 則子、水戸 茂雄
	口琴・のどうた・親指ピアノ	直川 礼緒		ギター「ルネサンス、バロック」	水戸 茂雄
	各種民族太鼓	有賀 誠門	民族舞踊	ジャワ舞踊	針生 すぐり
	ガムラン	岸 美咲 他	講座	小日向英俊ほか、実技教員	
	龍笛	鳥谷部 輝彦	※ここに表記していない楽器は、2026年度は開講いたしません。 ※上記の講師と共にアシスタント講師が指導にあたる場合があります。		
	パンフルート	咲久 徠 史子			

16. カリキュラム

教養コース		研究コース	
授業科目	回数	授業科目	回数
器楽実習（初級）	年間25回	器楽実習（中・上級）	年間25回
世界音楽入門	年間20回	世界音楽入門	年間20回
修了発表会（費用：10,000円）	1回	修了発表会（費用：10,000円）	1回
学外実習（施設見学）（実費）	1回	学外実習（施設見学）（実費）	1回

参考 昨年度講義カリキュラム

第1回	世界音楽について	第11回	世界の音楽 7：欧州 -2
第2回	世界の音楽を知る	第12回	世界の音楽 8：欧州 -3
第3回	楽器から知る世界音楽：世界の楽器	第13回	世界の音楽 9：欧州 -4
第4回	移民と音楽	第14回	世界の音楽10：中南米
第5回	世界の音楽1：南アジア -1	第15回	世界の音楽11：東南アジア-1
第6回	世界の音楽2：南アジア -2	第16回	世界の音楽12：東南アジア -2
第7回	世界の音楽3：東アジア -1	第17回	世界の音楽13：中央アジア
第8回	世界の音楽4：東アジア -2	第18回	世界の音楽14：西アジア
第9回	世界の音楽4：東アジア -3	第19回	世界の音楽15：日本・北東アジア
第10回	世界の音楽6：欧州 -1	第20回	概括